



# 小学校入学前後の子を持つ保護者の皆様へ！

## はじめに

小学校入学前後にあわせて、わが子の成長の為に、野球・サッカーなどのスポーツクラブ又はピアノ・そろばんなどのお稽古教室に通わせようと思案されている保護者の方が多いと思います。そこで、学校教育以外にも幅広い教育の場を提供し、身体や精神を鍛え、あるいは将来役に立つ技能を習得させたいと強く願っている保護者の皆様に対し、私どもボーイスカウトから、耳寄りな情報を提供させていただきます。

## ★1 『ボーイスカウト』って何？

スカウトとは、「先駆者」のことで、ボーイスカウトとは「自ら率先して幸福な人生を切り開き、社会の発展の先頭に立とうとする少年」という意味を持っています。

ボーイスカウト運動には次のような特徴があげられます。

### 1 青少年による自発活動を基本としています。

青少年達による「自治社会」（隊、班、組など）を形成し、さまざまな活動を通して、より良い社会人の形成を目指しています。

### 2 青少年が、誠実、勇気、自信、および国際愛と人道主義を把握すること、健康を築くこと、人生に役立つ技能を体得すること、社会に奉仕できることの人格・健康・技能・奉仕を4本柱としています。

### 3 幼児期から青年期にわたる各年齢層に適應するよう、年齢に応じた部門（組織）があり、それぞれのプログラムが一貫しています。

しかし、ボーイスカウト教育が他の青少年団体と異なるところは、そのプログラムにあります。それは、日常生活の行為規範（ルール）にあたる「ちかい・おきて」を誓い自律的に実践すること、少人数で構成される班を単位とする教育、進歩制度、野外活動を取り入れていることです。

### 4 人間愛と奉仕の心が基本です。

ボーイスカウト運動は、世界的な組織があり、他の国々とも力を合わせながら活動を推し進めているグローバルな青少年団体です。こうした背景をもとに、国際理解・国際協力プログラムを積極的に展開し、世界各国への支援活動を行っています。

### 5 世界のボーイスカウトと交流を行います。

ボーイスカウト運動の目的・教育システムは世界共通です。名称も世界共通で、「ボーイスカウト」または単に「スカウト」と世界中で呼ばれています。1920年には、国際事務局がロンドンに開設され、以来、人種・宗教・言語など、あらゆる違いを越えて、世界中の青少年の友愛を深めることを目指したスカウト活動が積極的に展開されています。

## 【一〇メモ】

ボーイスカウト運動は、世界の200以上の国と地域で、約3,600万人の加盟員（日本は16万人）で組織されています。私ども三河葵地区は 岡崎市内9ヶ団 西尾市内7ヶ団 幸田町内3ヶ団 蒲郡1ヶ団の総勢1200人で活動しています。

## ★2 スポーツクラブやお稽古教室との違いは？

	スポーツクラブ・お稽古教室	ボーイスカウト
教育的効果	① 特定の競技又は技能の習得・向上を図る。 ② 波及的に、身体・精神的な強化・向上を図る。 ③ 短期的・可視的に効果を測ることができる。 ④ 社会生活上に効果を直接発揮することは難しい。 ⑤ 子どもの人生設計上、中・長期的に寄与することは稀である（特定技能の習得により就業する場合を除く）。	① たくましさ・自主性・協調性・社会性を養い、社会に役立つ人間形成を図る。 ② 波及的に、野外活動に関する技能、自然・防災・環境に関する知識等を習得する。 ③ 短期的・可視的に効果を測ることは難しい。 ④ 社会生活上に効果を直接的に発揮することができる。 ⑤ 子どもの人生設計に中・長期的に寄与する。
経済的負担	月謝、用具（楽器）購入代、施設利用料、遠征（旅行）代、資格試験料等の経費が想定されるが、一概に言えない。	加盟登録料、活動費、旅行代、入団時の制服・用品購入代等をすべて含めて、月平均で2千円程度。
他のクラブや教室との競争性	時間的・物理的に両立が難しい。スポーツクラブの場合、欠席するとレギュラーから外されるなど致命的な結果をもたらす。	中・長期のプログラムを提供しているため、一定の期間欠席することは支障ない。参加すれば常にレギュラーであるといえる。

## ★3 どんな活動をしているの？

野外活動を通じて、自然を学び、友情や協調の精神を育てることが中心です。月1～2回、週末に集まって、工作やゲーム、歌、演劇などの活動、手旗やロープなどの練習、キャンプ生活を実施します。更に、登山、スキー訓練、サイクリング、川遊びなど四季に応じた魅力あるプログラムを実施しています

## ★4 費用はいくらかかるの？

各団で異なりますが、入会金（入団時のみ）2千円程、年間活動費（育成会費及び隊費）1万2千円程、年間加盟員登録料6千円程が必要です。また、スキー訓練、キャンプなど活動内容に応じて別途参加費を負担していただきます。

## ★5 保護者はどの程度手伝うのか？

ビーバースカウト（小学校2年生まで）の間は、原則、保護者同伴となります。カブスカウト（小学校3～5年生）以上は、スカウト自身が組又は班の一員となって自主的に活動に参加します。

また、活動内容によっては、遠くへ出かけるときの引率（車の手配）や子供たちの作業の補助など、必要に応じてお手伝いをお願いしています。保護者の皆様には、出来る範囲でのご協力をお願いしています。